

多文化共生の  
取り組みに  
フォーカス!

# 外国人市民と共生する まちづくりセミナー

～多文化共生社会を知る～ **レポート**

川崎で頑張っている  
**民間団体紹介**  
48



交流発表会の様子

外国人市民とともに生きる多文化共生社会について学習するための市民向けセミナーを開催しました。9月4日(土)の第1回講座では、東京弁護士会所属の弁護士、駒井知会様により「在留資格制度から取りこぼされた人々を見つめて」をテーマとした講演がありました。外国人救済に直接携わっていらっしゃる駒井先生の現場の声、また経験に基づいた貴重な講演はとても心に響くものであり、日本の現状や制度に関心を持つ機会となりました。これからも関心を持ち続け、より暮らしやすい社会を構築するために、互いを知り認め合うことの重要性を学びました。

講演の中で、駒井先生からご紹介いただいた本「やさしい猫」中島京子著(中央公論新社)は、とてもわかりやすく、在留資格や滞日外国人の状況について考える機会となります。是非多くの方に読んでいただきたいです。

11月3日(水、祝)の第2回講座では、一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事、田村太郎様により「外国人とともに創る地域の未来～多文化共生のこれまでとこれから～」をテーマとした講演がありました。日本で暮らす外国人の様子や、地域での取り組みについて、統計や事例に基づいて解説していただき、外国人とともにつくるこれからの地域のあり方について、一人ひとりが考えていかなければならないと感じました。

多文化共生社会推進のためには、文化の多様性に対する配慮や、尊重し合う姿勢が重要です。今後も外国人市民をとりまく現状と課題について学習し、課題解決に向けて考えていくセミナーを開催する予定です。地域社会の一員として相互に支え合い、外国人も含めた市民が安心して生活できる社会を目指していければと思います。

(文:川崎市国際交流協会 伊藤万恵)



## (公財)ラボ国際交流センター

財団法人ラボ国際交流センターは、1972年にアメリカワシントン州、アイダホ州のアメリカ4H<sup>(注)</sup>の家庭に179名の青少年が訪問したのをはじまりとして1973年に設立され、以来青少年の国際友好親善と国際理解教育の促進、地域の多文化共生のための日本語の普及と支援活動、および言語の調査研究活動を行っております。2012年4月1日からは内閣府公益認定等委員会から公益認定を受け、公益財団法人に移行しています。

ラボ国際交流プログラムとして、北米、ニュージーランド、中国、韓国でラボ・青少年国際交流を行い、オレゴン国際キャンプ、ラボ・高校留学プログラム、外国青少年受け入れプログラム、ラボ・インターンプログラムを行っています。

2020年からのコロナ禍の中、国際交流プログラムの中止を余儀なくされていますが、2021年夏に、アメリカ、カナダへの高校留学が再開し、全国から22名の高校生が留学生生活をスタートさせています。

ラボ国際交流センター川崎エリアには、0歳児から大学生まで400名ほどの会員がいて、英語(一部中国語、韓国語、スペイン語、フランス語)の歌や物語を楽しみながら、発表会や交流会、キャンプなどの国内交流活動も行っています。毎年インターナショナル・フェスティバル inカワサキにも参加し、英語の歌やおはなしの英語劇を披露しています。

(注)アメリカ農務省に本部を置き、各州立大学に州本部を置く青少年団体



2021-2022年度カナダへの高校留学

公益財団法人 ラボ国際交流センター

川崎エリア 代表 若槻久美子  
連絡先: TEL03-5324-3430(本部)

### 行ってみたいな! このお店

～外国人シェフや外国人と共に、頑張っているお店を紹介～

## クラウドキッチン123

ベトナム料理、パクチー創作料理、ふるさと弁当  
ベトナムのビール&お酒

年中無休(まん延防止期間は完全予約制)  
〒210-0004 川崎市川崎区宮本町3-7 春日荘105  
☎044-222-3582 ☎044-223-8910



幸区から、川崎区へ移転! コロナ禍でも、ベトナムとの食文化交流の灯を絶やしたくなかったこと、「大家族ふるさと食堂～子ども食堂お弁当の日」の継続の為作りました。小さなお店ですが、アットホームで、安心安全にお料理をお楽しみいただけます。予約制ですでお電話ください。

月2回、大家族ふるさと食堂(子ども食堂)お弁当の日も実施!  
第2火曜日、最終週火曜日 子ども無料、大人500円 お菓子、おみやげ付き